

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	法学	
科目基礎情報							
科目番号		0122		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		商船学科		対象学年		5	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		なし/憲法等関係法令は、資料として配付する					
担当教員		深見 佳代,中平 希					
到達目標							
1. 憲法の基本的概念を習得する。 2. 日本国憲法の保障する人権について理解する。 3. 20世紀的権利といわれる社会権的基本権について理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		憲法の基本概念について説明できる。		憲法の基本概念について理解し、中間試験・期末試験において合格点をとることができる。		憲法と法律の違いについて理解できていない。	
評価項目2		憲法が保障する基本的人権について説明できる。		人権保障の大切さについて説明できる。		人権保障の大切さについて考えようとしていない。	
評価項目3		生存権と社会保障制度について説明できる。		生存権を保障するための社会保障制度について説明できる。		社会権的基本権について理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		社会人として、一市民として、必要な法的素養について憲法を中心に学ぶ。					
授業の進め方・方法		基本的には講義形式で行う。毎回の授業で課題を出すので必ず提出すること。					
注意点		・ 真摯な授業態度が見られない場合は、ポートフォリオ内容点より減点する。 ・ 他者の意見にきちんと耳を傾けること。 ・ 取り上げる授業内容は、変更することがある。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		この授業の到達目標、履修上の注意点、評価方法などについて説明できる。		
		2週	明治憲法の成立と特質		憲法は国家権力を制限するために生まれた法である。条文を音読し、その相違について説明できる。		
		3週	日本国憲法の制定		日本国憲法の制定過程について説明できる。		
		4週	基本的人権・平等権		許されない差別と許される区別について説明できる。		
		5週	基本的人権・自由権		戦前の思想・学問への弾圧事件を通して、学問の自由の大切さについて説明できる。		
		6週	前半のまとめ		これまでの学習事項について説明できる。		
		7週	中間試験		合格点をとる。		
		8週	答案返却・解答		試験の結果を踏まえ、自身の取り組みを振り返ることができる。		
	2ndQ	9週	基本的人権・人身の自由		えん罪が発生する背景について説明できる。		
		10週	基本的人権・社会権		生存権を保障するための社会保障制度について説明できる。		
		11週	基本的人権・社会権		労働者の生存権について説明できる。		
		12週	基本的人権・参政権		政治に参加する権利の持つ意味について説明できる。		
		13週	憲法の平和主義		平和主義の特徴について説明できる。		
		14週	後半のまとめ		これまでの学習事項について説明できる。		
		15週	期末試験		合格点をとる。		
		16週	試験返却・解答		試験の結果を踏まえ、自身の取り組みを振り返ることができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。		2	
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。		2	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	合計	
総合評価割合	60	0	0	0	40	100	
基礎的能力	60	0	0	0	40	100	

專門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0